

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上



【外来診療のご案内】

令和8年4月より新年度を迎え、外来担当医が若干の変更となります。受診を予定される際の参考にして下さい。掲載内容は急遽変更となる可能性もありますのでご了承ください。



外来担当医表 (R8.4.1～)

科目	曜日	月	火	水	木	金	
内科	午前	長嶺	松田	水野	水谷	鷹野	
	午後	休診	松田	休診	休診	内田 ※4	
精神科 心療内科 ※1 (予約制)	午前				一色		
	午後				一色 ※2		
整形外科	午前	今村	休診	今村	かどの 門野 ※3	中島	
	午後				鳥尾 ※4		
皮膚科	午前						
	午後				工藤		
歯科	午前	岡村 (完全予約制)					
	午後						

※1 精神科・心療内科は再診のみ ※2 第1・3週のみ ※3 午前9:30～診察開始
※4 午後2:00～診察開始

外来受診には無料送迎もご利用いただけます

無料
送迎車 運行中

ご自宅 → 麻見江ホスピタル

麻見江ホスピタル → ご自宅

お電話にて「送迎」をご依頼ください

☎ 049-296-1155

予約受付(月～金) 8:30～17:00 まずはお気軽にお電話ください

ご自宅まで送迎いたします

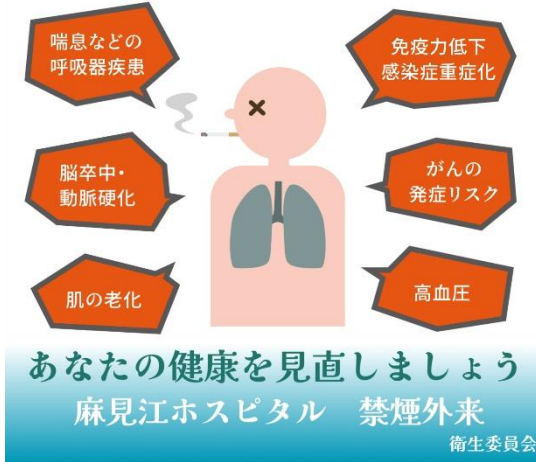
※ご利用にはいくつかの条件がございます

<感染症予防対策を継続・実施中です。>

麻見江ホスピタルでは新型コロナウイルスを始めとした感染症予防対策を実施しております。外来受診、御面会、その他ご用件で来院された方々には入館時の手洗い・うがい、検温・体調確認票へのご記入をお願いしております。患方やご家族様方、ご来院の方々にもご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。感染症を予防が必要な状況はまだまだ続きますのでお手数とは存じますが、ご協力の程をお願いいたします。



『禁煙外来のご案内』



当院はニコチン依存症管理料の届け出を行っており、禁煙の治療サポートをする禁煙外来があります。禁煙を決意したとしても、「口さみしさをどう埋めたらよいのか」「仕事のイライラの解消法が分からない」などの不安や心配から禁煙をあきらめてしまう人がいます。多くの方は「禁煙はつらくて苦しいもの」と思っているかもしれませんが、それは大きな間違いです。医師と一緒に取り組めば、比較的楽に、より確実に、しかも費用もあまりかけずに禁煙できる可能性がありますから、まずは当院禁煙外来に相談してみてください。

タバコがやめられないのは意志が弱くて止められない、と言う精神論ではなく、脳の「ニコチン依存症」という症状であることから「タバコやめようかな」と思ったら禁煙補助薬（内服薬や貼り薬）を使うことで、タバコを「まずい」と感じさせたり、イライラや口寂しさを抑えたりできる仕組みを作ります。自力での禁煙成功率がわずかで

あるのに対し、禁煙外来を利用した人の成功率は高くなる可能性があります。たばこをやめれば、健康になり、味覚や嗅覚もよくなるだけでなく、たばこを吸う場所を探す必要がなくなり、金銭的な余裕も生まれます。健康保険で治療を受けるには、自らが直ちに禁煙をしたいと望んでいること、スクリーニングテストでニコチン依存症と診断された人など、いくつかの条件が必要になります。この機会に禁煙に取り組んでみてはいかがでしょうか？

お問い合わせは当院内科外来 TEL:049-296-1155 まで（予約制です）。



【雪が降りました】

令和8年2月8日、天気予報の通り、雪が降りました。見事な位に積雪となりました。夏は最高気温の暑さで報道される事があります当院所在地の鳩山町です。それならば冬場は暖かいのかと思いきや、実は冬場では近隣地域よりも寒いのです。隣接する地域から来て頂いた方に「鳩山に入る頃から道路にも積雪になっていて驚いた。」と言われました。これからの時期でも降雪の可能性あります。当院へご来院される場合には降雪予報があれば、積雪の可能性あります。ご準備のほどをお願い致します。

☆ 編集後記 ☆

皆様半年ぶりの編集長です。この号が発刊される前の先月（2月）にはミラノコルティナ冬季五輪が開催されました。日本人選手による多くのメダル獲得や活躍を連日ニュースで見えておりました。オリンピック特集の番組を見ておりましたら、選手を支える人達の活躍も放送されており、選手が身に着ける物や道具には競技に勝つための技術やメーカーの努力も特集されており、選手の活躍だけでなく見どころがありました。冬季五輪の興奮が冷めやまぬ中ですが、3月からワールドベースボールクラシックが開幕します。侍ジャパンは前回大会に続き連覇できるかが見どころです。今回のWBCは地上波の無料放送ではなく、有料のストリーミングを契約していないと観られないのが悩みどころです。編集長宅はこの某ストリーミングサービスに加入していないのです。思い切って加入すべきか否か…。この号が発刊される頃までには決断していると思います。

さて、来月からは新年度です。編集長の子供は中学三年生。中学生になったばかりと思っていたら受験生になります。そんな親の心配は子供には大きなお世話かも知れません。では、「麻見江ホスピタルだより」のご愛読者の方々、次号の記事をお楽しみに。

-編集長-